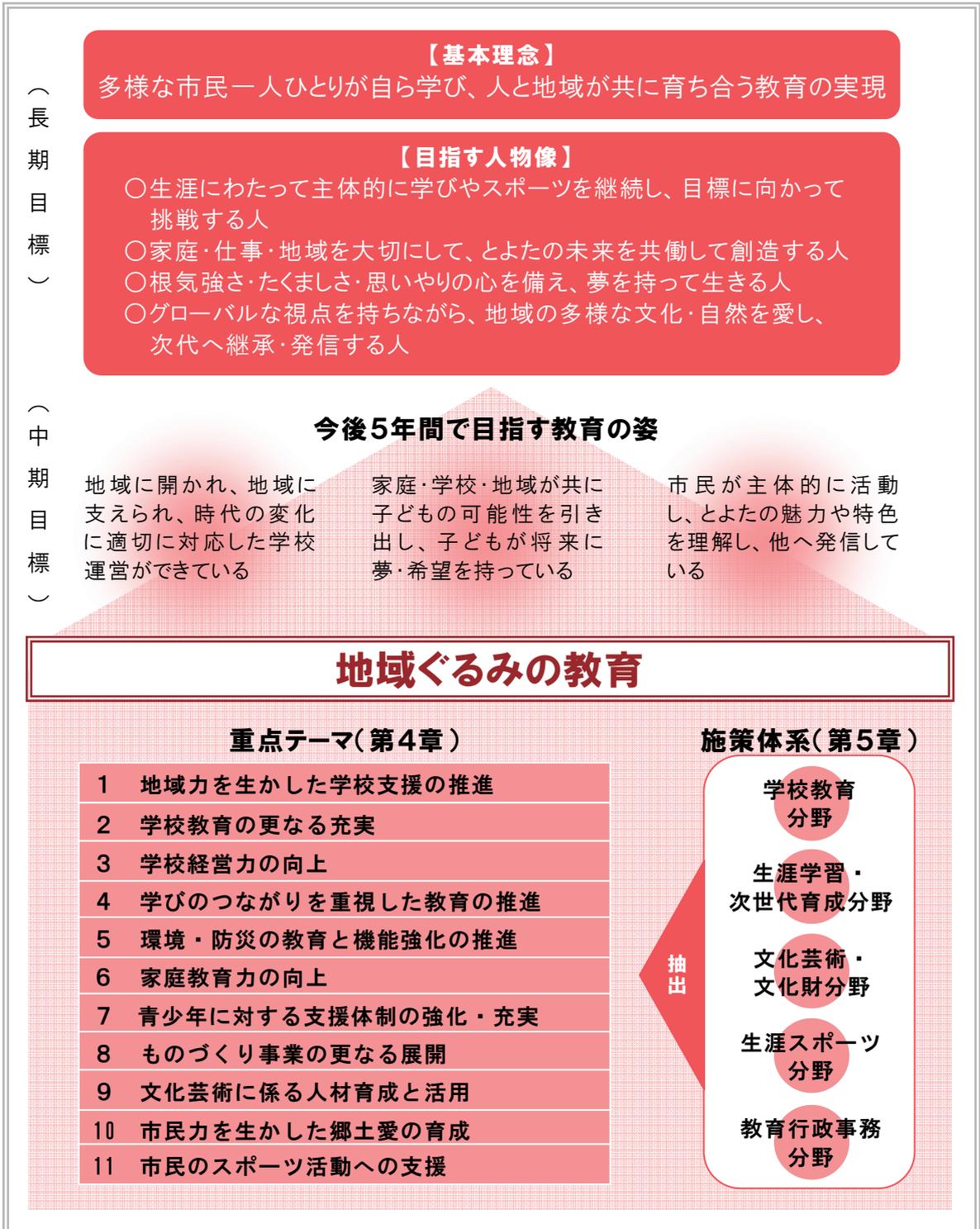


第3章 計画の基本的な考え方

豊田市の教育行政の長期的な目標として「基本理念」、「目指す人物像」を設定し、今回の計画期間（平成 25～29 年度）における目標として、「今後5年間で目指す教育の姿」を設定します。



1 基本理念

豊田市は、昭和 30 年代から 40 年代にかけて、周辺町村との合併及び市外からの転入者の大幅な増加により、地域社会との関わりの深さや居住歴が異なる人たちが混在するようになり、新しいコミュニティ形成の意識が必然的に生まれてきました。そして、その目指すべき目標を決めようとする議論が全市的に展開され、昭和 53 年 3 月に市民共通の願いを 5 項目に託した「豊田市民の誓い」が誕生しました。

「豊田市民の誓い」を実現するためには、表面的な理解ではなく、市民一人ひとりが、日常生活の中で誓いの意味を理解し、行動に移せることが何よりも重要となります。教育行政においては、この「豊田市民の誓い」を実現できる市民の育成が大きな目標となります。

こうした思いを込めて、教育行政の長期的な目標として、次ページの基本理念を設定します。



豊田市においては、世代、性別、職業、志向性、経験、文化、言語などが異なる多様な市民が生活したり、関わり合ったりしています。ここでいう市民とは、例えば、豊田市に住む人、豊田市で働く人、豊田市で学ぶ人、豊田市で育った人、豊田市に想いのある人など、豊田市に関わりのある全ての人を指します。

本計画においては、こうした多様な市民が、生涯を通じて、自ら主体的に、教育・学習活動、文化・スポーツ活動、交流活動、まちづくり活動などに取り組むとともに、地域社会の中でそれぞれ異なる人々が共に交流し、相互に育ち合うことにより、市民と地域社会が共に発展していくことを目指します。

そのために、市民が生涯にわたって様々な機会を捉えて主体的に学ぶことで、個性や能力を伸ばせる環境を整えていきます。また、市民一人ひとりがその個性や能力を地域の様々な機会で生かし、市民同士で互いに高め育ち合う状況が日常的に生まれる環境を整えていきます。そして、地域の自立性・主体性を高め、また、地域自身が次なる課題を見い出して発展していく流れを創り出していきます。

市民が日常生活の中でこうした機会に触れ、関心を持って学べるような教育が、本市で実現している状況を目指します。

教育行政計画の基本理念

多様な市民一人ひとりが自ら学び、 人と地域が共に育ち合う教育の実現



2 目指す人物像

基本理念の実現に向けて、子どもたちへの学校教育、そして全ての市民への生涯学習の充実に取り組んでいきます。今後5年間の各事業・施策での取組の結果、多くの市民が以下のように、多彩に活動している状況が生まれていることを目指し、その市民の姿を「目指す人物像」として表現します。

**生涯にわたって主体的に学びや
スポーツを継続し、
目標に向かって挑戦する人**

自分の夢や目標の実現に向けて努力を続けることが大切です。ライフスタイルや生活環境の変化、挫折を感じる瞬間など、努力を続けていくことが困難な状況でも、あきらめずに挑戦する心を持つ人であることが求められます。

**家庭・仕事・地域を大切にして、
とよたの未来を
共働して創造する人**

自分の家庭や仕事を大切にするとともに、地域社会の中での自らの役割を認識し、主体的に地域活動に取り組む人の存在がこれからの豊田市には必要です。多様な主体と共働しながら地域社会、そして、本市の発展に取り組む人であることが求められます。

**根気強さ・たくましさ・思いやりの
心を備え、
夢を持って生きる人**

これからの変化の激しい時代を生き抜くためには、困難や失敗にもあきらめない強さ、生涯をいきいきと暮らすための健全な心身、そして、他人への思いやりの心を持つことが必要です。また、先の見えない状況においても、自分の夢をしっかりと持って生きることが大切であり、このような資質を持つ人であることが求められます。

**グローバルな視点を持ちながら、
地域の多様な文化・自然を
愛し、次代へ継承・発信する人**

グローバル化の進む世界の中では、国際的な比較の中で個人や地域の個性・特長をよく知り、それらの価値を維持向上させていく行動が意味を持ちます。本市の多様な文化や豊かな自然を愛し、その価値を次代を担う子どもたちにつなぐとともに、その価値を広く発信できる人であることが求められます。

3 今後5年間で目指す教育の姿

基本理念及び目指す人物像の実現に向けて、今回の計画期間の今後5年間で目指す教育の姿として、次の3つの柱を立てます。

なお、それぞれの柱について、重点的に取り組むべきテーマを設定しています。重点テーマの推進に当たっては、行政だけではなく、家庭・学校・地域が一体となって「地域ぐるみの教育」をキーワードとして、取り組んでいきます。

地域ぐるみの教育

地域に開かれ、地域に支えられ、
時代の変化に適切に対応した
学校運営ができています

地域住民、保護者などの学校運営への参画を通じて、地域に開かれ、信頼される学校となり、地域に支えられ、時代の変化と教育を受ける側からの要請に対応できる教育を実現していくことが大切であると考えています。

家庭・学校・地域が共に
子どもの可能性を引き出し、
子どもが将来に夢・希望を持っている

本市の教育施策の展開において、次代を担う子どもを始め、市民全体に対する教育活動に学校はもとより家庭や地域が積極的に関わっていくことが大切であると考えています。そして、子どもたちが変化の激しい社会の中で生き抜く力を育み、自分に自信を持ち、将来に夢と希望を持って育つ環境づくりが大切であると考えています。

市民が主体的に活動し、
とよたの魅力や特色を
理解し、他へ発信している

歴史・文化、産業面での特長を有し、広範かつ多様な市域を有する豊田市らしさを市民が共有し、地域に対する誇りと愛着を持てるよう学びの機会を提供するとともに、その成果を他へ発信し、地域などに還元していくことが大切であると考えています。